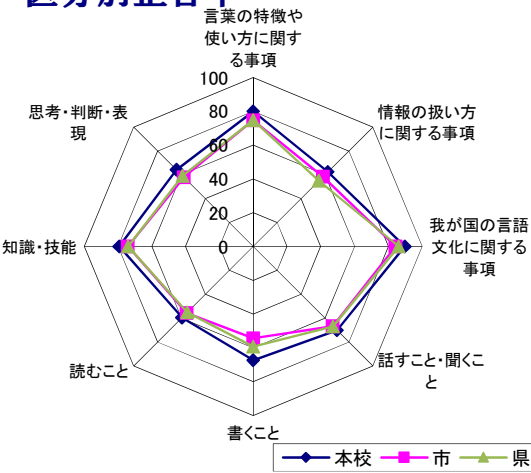


宇都宮市立富士見小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	80.0	74.7	74.8
	情報の扱い方にに関する事項	62.6	58.4	55.0
	我が国の言語文化に関する事項	89.7	84.3	86.1
	話すこと・聞くこと	70.1	66.7	66.9
	書くこと	67.3	54.3	59.3
	読むこと	59.5	55.6	55.2
観点	知識・技能	79.3	74.1	74.0
	思考・判断・表現	64.1	58.0	59.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	○本領域の平均正答率は80%で、県の正答率を5.2ポイント上回った。 ○「文の中における主語と述語との関係を捉えることができる」の平均正答率は80.4%で、県の正答率を14.5ポイント上回った。 ●「ローマ字で表記されたものを正しく読むことができる」の平均正答率は52.3%で、県の正答率を6.8ポイント下回った。	・3年生で学習したローマ字について、朝の学習や宿題等で復習を行い、定着を図る。 ・ミニテストなどで各自が定着度を確認できるようにする。また、一人一台端末のローマ字入力に慣れさせるなど、日常的に活用できるようにしていく。
情報の扱い方にに関する事項	○本領域の平均正答率は62.6%で、県の正答率を7.6ポイント上回った。	・授業や朝の学習のときに、国語辞典を使って、初めて出会った言葉、熟語、慣用句等の意味を進んで調べられるように、継続して指導していく。
我が国の言語文化に関する事項	○本領域の平均正答率は89.7%で、県の正答率を3.6ポイント上回った。	・漢字辞典の使い方を確認し、朝の学習や自主学習などで熟語集めをさせるなど、積極的に漢字辞典を活用させるとともに、新出漢字を学習する際、漢字の構成に着目させるようにする。
話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は70.1%で、県の正答率を3.2ポイント上回った。 ○「相手に伝わるように、自分の考えを、理由を挙げながら話している」の平均正答率は84.1%で、県の正答率を9.6ポイント上回った。 ●「司会者の役割を果たしながら話し合い参加者の発言をもとに考えをまとめることができる」の平均正答率は29%で、県の正答率を0.6ポイント下回った。	・朝のスピーチなどを通して、話し手が伝えたいことの中心を聞き取る力が身に付いてきた。今後は、質問や感想などを交流させ、自分の考えを伝える力の向上を図る。 ・話し合い活動を行う際に、誰もが司会者を経験できるよう設定する。また、相手の意見や発言をよく聞き、それらを受けて自分の発言につなげていくなど、話し合いのポイントを示すとともに、やりとりを重視した活動が行えるようにする。
書くこと	○本領域の平均正答率は67.3%で、県の正答率を8ポイント上回った。 ○「文章を書く」の全ての設問で県の正答率を上回った。 ●「文章を書く」の全ての設問において、無回答が15%であった。	・他教科の学習においても、自分の考えを理由を明確にしながら表現する機会を多く設けるとともに、伝えたい内容が相手に伝わるように意識して書かせるなど、「書く」指導の充実を図る。
読むこと	○本領域の平均正答率は59.5%で、県の正答率を4.3ポイント上回った。 ○「物語の内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」の全ての設問で県の正答率を上回っていた。 ●説明文の「叙述を基に段落の内容を捉えることができる」の正答率は16.8%であり、他の設問に比べて平均正答率が低かった。	・読書活動を引き続き推進し、文章に触れる機会を多く作る。 ・物語文では、登場人物の行動や心情の変化に注意するなど、読む視点を与えることで、読解力を高める。 ・説明文では、段落相互の関係に注意し、筆者の意図を意識しながら読むように指導していく。